【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2008-42919(P2008-42919A)
【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-007
【出願番号】特願2007-203678(P2007-203678)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　76/02　　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　7/26　　１０９Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線デバイスにおける方法であって、該無線デバイスは、無線ネットワーク内で動作し、該方法は、
該無線ネットワークに第１の通信を送信することであって、該第１の通信は、１つ以上の基準によって重要であると決定される、ことと、
該無線ネットワークから第２の通信を受信することと、
該第２の通信に応答することを制約するために、通信制約が、該無線ネットワークによって課されているかどうかを決定することと、
該通信制約がある場合、
該第２の通信が、該第１の通信を送信した後に所定の期間内に受信されたかどうかに基づいて、該通信制約に関わらず、該第２の通信に応答すべきかどうかを決定することと、
応答されるべきと決定された場合、該通信制約に関わらず、該第２の通信に応答することと
を含む、方法。
【請求項２】
前記第１の通信は、緊急コールセンタへの通信を含み、かつ／または
前記第２の通信は、ページである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１の通信を送信した後に、タイマを開始することであって、該タイマは、前記所定の期間後に満了する、こと
をさらに含み、
前記第２の通信が、前記第１の通信を送信した後に該所定の期間内に受信されたかどうかを決定することは、該第２の通信が受信されたときに、該タイマが依然として稼動しているかどうかを決定することを含む、請求項１または請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記所定の期間を示すシステム情報メッセージを受信することと、
該所定の期間が前記無線通信ネットワークによって指示されていない場合に、所定の一定値を用いることと
をさらに含む、請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】
前記通信制約が課されているかどうかを決定することは、
前記無線デバイスが、禁止されているアクセスクラスに属するかどうかと、該無線デバイスが、アイドルモードであるかどうかとを決定すること
を含む、請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の方法。
【請求項６】
前記無線デバイスが、禁止されているアクセスクラスに属するかどうかを決定することは、
禁止されている任意のアクセスクラスの指示を含むシステム情報メッセージを受信することと、
該システム情報メッセージが、該無線デバイスが属するアクセスクラスが禁止されていることを指示しているかどうかを決定することと
を含む、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答することは、
前記無線ネットワークへの接続を確立することと、
該接続を介して、該第２の通信への応答を送信することと
を含む、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の方法。
【請求項８】
前記接続は、ＲＲＣ（Ｒａｄｉｏ　Ｒｅｓｏｕｒｃｅ　Ｃｏｎｔｒｏｌ）接続であり、
該ＲＲＣ接続を確立することは、ＲＲＣ　ＣＯＮＮＥＣＴＩＯＮ　ＲＥＱＵＥＳＴメッセージを送信することを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記第２の通信を受信することは、前記通信制約に関わらず、該第２の通信に応答すべきかどうかを決定するための前記無線デバイス向けの情報を受信することを含み、
該通信制約に関わらず、該第２の通信に応答すべきかどうかを決定することは、該情報にさらに基づく、請求項１～請求項８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１０】
前記無線デバイス向けの前記情報は、重要性の指標を含み、
前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答すべきかどうかを決定することは、該重要性の指標に基づく、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記情報は、前記第１の通信の後どれくらいの間その後の通信が重要であると考えるべきかを示すタイマ情報を含み、
前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答すべきかどうかを決定することは、該タイマ情報に基づく、請求項９に記載の方法。
【請求項１２】
前記無線ネットワークからメッセージを受信することであって、該メッセージは、前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答すべきかどうかを決定するための前記無線デバイス向けの情報を含む、ことをさらに含み、
該通信制約に関わらず、該第２の通信に応答すべきかどうかを決定することは、該情報にさらに基づく、請求項１～請求項８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１３】
前記第２の通信に応答することを制約するために、通信制約が、前記無線ネットワークによって課されているかどうかを決定することは、
該第２の通信が、該無線ネットワークによって禁止されたアクセスクラスを用いて、受信されたかどうかを決定することを含む、請求項１～請求項１２のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１４】
コンピュータで実行可能な命令を有するコンピュータ読み出し可能な媒体であって、該

命令は、プロセッサ上で実行するために、該媒体上に格納され、コンピューティングデバイスに、請求項１～請求項１３のいずれか１項に記載の方法をインプリメントさせる、コンピュータ読み出し可能な媒体。
【請求項１５】
請求項１～請求項１３のいずれか１項に記載の方法をインプリメントするように構成された無線デバイス。
【請求項１６】
無線デバイスが通信に応答することを制約するために、通信制約を課すことと、
第１の通信を受信することと、
１つ以上の基準に基づいて、該第１の通信が重要かどうかを決定することと、
該第１の通信が１つ以上の基準によって重要であると決定された場合に、該通信制約に関わらず、第２の通信に応答すべきかどうかを決定するために、該無線デバイス向けの情報を送信することと、
該第２の通信を送信することと
を含む、方法。
【請求項１７】
前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答すべきかどうかを決定するために、前記無線デバイス向けの情報を送信することは、該第２の通信の一部として、該情報を送信することを含む、請求項１６に記載の方法。
【請求項１８】
前記通信制約に関わらず、前記第２の通信に応答すべきかどうかを決定するために、前記無線デバイス向けの情報を送信することは、前記通信とは異なるメッセージの一部として、該情報を送信することを含む、請求項１６に記載の方法。
【請求項１９】
前記情報は、重要性の指標を含む、請求項１６～請求項１８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２０】
前記情報は、前記第１の通信の後、どのくらいの時間、前記無線デバイスが前記第２の通信に応答することを許可されるかを指示するタイミング情報を含む、請求項１６～請求項１８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２１】
前記通信制約を課して、前記無線デバイスが前記通信に応答することを制約することは、アクセスクラスを禁止することを含み、
前記第２の通信を送信することは、禁止された該アクセスクラスを用いて、該第２の通信を送信することを含む、請求項１６～請求項２０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２２】
請求項１６～請求項２１のいずれか１項に記載の方法をインプリメントするように構成されたネットワーク。
【請求項２３】
コンピュータで実行可能な命令を有するコンピュータ読み出し可能な媒体であって、該命令は、プロセッサ上で実行するために、該媒体上に格納され、コンピューティングデバイスに、請求項１６～請求項２１のいずれか１項に記載の方法をインプリメントさせる、コンピュータ読み出し可能な媒体。